

市役所整備に対する基本的な考え方（施設コンセプト・基本方針案）

施設の課題や今後果たすべき役割を整理し、より良い市民サービスの提供と効率的な行政運営を目指して、行政運営の基本理念と、施設整備に向けたコンセプト及び基本方針を次のとおり設定します。

今後の施設整備に向けては、このコンセプト及び基本方針に沿って進めていくものとします。

【行政運営の基本理念】

『市民が主役のまちづくり（市民の参画と協働）』

行政課題の解決に向けては、平成13年の「元気な人間都市宣言」の下、市民と行政のパートナーシップ（協働関係）により進めていく。

1 施設コンセプト

将来にわたって求められる施設コンセプトを下記のとおり定めます。

「交流と協働」 ～市民と行政のエネルギーを1つに！～
市民どうし、市民と行政の交流と対話からまちづくりを始める場

2 基本方針

施設コンセプトに基づき、これまでの検討結果を踏まえ施設整備の基本的な方針を次のとおり定めます。

i) 市民に親しまれる開かれた施設

- ・誰もが気軽に利用でき、市民が日常的に集い、ふれあい、交流する場としての機能。
- ・コミュニティや市民活動の拠点として、活用できる機能。
- ・市民と行政が力を合わせて協働を推進し、政策を創造していく場となる機能。
- ・市民、行政の情報発信の拠点となる機能。
- ・優しさが感じられ、利用者の動線、待合などに配慮した施設。

ii) 環境に配慮し安全・安心な施設

- ・計画（設計）、建設から運用、廃棄までのライフサイクルを通して、環境負荷が少なく環境保全対策の模範となる施設。
- ・十分な耐震性能を確保するとともに、災害時に自立可能な設備や備蓄があり、防災・災害復興拠点としての機能を発揮できる施設。
- ・市民の大切な財産や情報を預かるためのセキュリティを備えた施設。

iii) 市民が使いやすい施設

- ・市民ニーズの多様化、高度化、地方分権の推進、人口減少や少子化、高齢化など、行政需要の変化に柔軟に対応できる施設。
- ・ユニバーサルデザイン、バリアフリーを積極的に導入し、子どもや外国人を含めた全ての人々が使いやすい施設。

iv) オフィス機能が強く時代の変化に対応できる施設

- ・業務間の連携や効率的な事務執行が図れるよう執務室や会議室、来庁者に対応する空間が効率的に配置された施設。
- ・躯体と比較して耐用年数が短い設備機器については、交換しやすくニーズに合わせて拡張・収縮が柔軟に行える施設。

v) 経済性に優れ長期間使い続けられる施設

- ・耐久性に優れ、長期間（目標：80年）使い続けられる施設。
- ・初期コストだけに捉われず、長期間使用し続けることを前提に、計画（設計）、建設から運用、廃棄までのライフサイクルを通して経済性の高い施設。

vi) 公共施設マネジメントのモデルとなる施設

- ・検討プロセスや整備手法など、公共施設マネジメントのモデルケースとなる施設。